



森林ボランティア

「オホーツクの会」だより No. 39

生田原教育センター森林教室

ハンモックが壊れる?!

猛暑（北見市の最高気温 36.9 度）となった 7 月 15 日（土）、オホーツクの森で生田原教育センター森林教室が行われました。

参加した 29 名の生田原っ子は、森の探検やハンモック等、森の遊具、川遊びを楽しみ、パチンコ、木工クラフト作りにも挑戦…暑い一日のみどりを満喫しました。

常呂川 FC 所長の扮する隊長以下、森の番人・スタッフとして「オホーツクの会」の会員が協力・支援しました。

隊長の指示を受けた隊員（子供たち）は、5つの班に分かれ、カモフラージュの後、森の探検を始めました。



子供たちは、森の番人が繰り出すミッションを次々とクリアし、元気にオホーツクの森を走破、生き生きと隊長に結果を報告していました。

その後、待っていたのは会員の作ったターザンロープやブランコ等の遊具で、特に人気があったのは今年初登場の大型ハンモック、ネットが破れるのでは？と思うほど群がっていました。そして、熱くなった身体を癒やしたのは川遊びです。

午後からは、パチンコ作り、的当て、木工クラフト、タネ飛ばしと暑い暑い一日を終えました。協力いただいた会員は次の通りです。（栄）

【栄、吉田（昭）、小島、渋谷、小林、大戸】

オホーツクの森 こども探検隊

自然を学ぶきっかけに

7月23日（日）、オホーツクの森で小学生12名が参加し、「オホーツクの森こども探検隊」が行われました。

このイベントは森の中を子供だけのグループを作り、助け合いながらの探検をするものです。

探検では、子供たちが安全に探検できるように“ふれセン”とオホーツクの会から「森の番人」等を配置し見守りました。



探検終了後は、樹木を利用して作ったブランコ、ターザンロープ、ハンモック、川遊び、午後からは、パチンコ、マツボックリのフクロウを作りました。

普段テレビゲームなどで遊ぶことが多い子供たちにとっては自然を学ぶきっかけとなり、その魅力を体感することができたと思います。

また、今回は現地集合となったため、送迎される保護者のためのプログラム（化粧炭、枝笛等）も実施しました。

ご協力頂いた会員の皆様大変ご苦労様でした。（吉田 昭義）

【鞆師（守）、角、栄、吉田（昭）、吉田（正）、小島、植村、長谷川、
渋谷、小林、鞆師（和）、松原】

【なるほどクイズ】（答えは会報のどこかに…）

樹木には成長幅をあらわす「年輪」がありますが、この年輪、広い方が南…というのはウソ？ホント？



楽しく・忙しく…

夏休み子ども見学デー

7月27日（木）・28日（金）、北見市東小学校体育館で国民・市民に農林業を知ってもらうためのイベント「農林水産省子ども見学デー」（北海道農政事務所北見地域拠点、北海道森林管理局網走南部署・網走中部署・常呂川FCの共催）が行われ、ふれセンからの要請を受けて協力しました。

竹とんぼ、マツボックリクラフト、丸太切り、タネ飛ばし、笛作り等を子どもさん、同行のお母様方等を対象に行いました。

2日間とも、人の集まりが良く、イキイキとした子どもたちと楽しく、大変忙しく、動き回りました。

我が孫と同様に、心を込めて接すると笑顔を見せてくれ、充実した一日になりました。

屋外の活動だけでなく、「これも有り」で、若い世代との関わりも楽しいものです。

- ・ 種子が生育する場を求めてのタネ飛ばし…
- ・ 木の匂い、感触を感じる丸太切り…

それぞれに、自然を学び、感じるきっかけになればと思いつつ…。

なお、協力いただいた会員は次の通りです。（吉田 正）

【吉田（昭）、吉田（正）、長谷川、轡田】



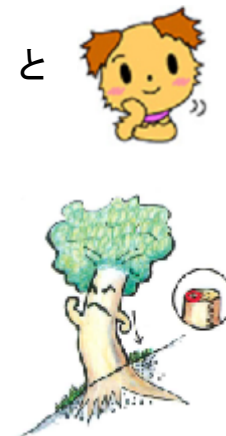
【なるほどクイズ】（答え）

「グラウンドのような平らな場所に1本だけ立っている」という条件ならばホントです。



しかし、周囲には多くの樹木があったり、傾斜地で育っているなどさまざまな環境があり、「南が広い」とは言い切れないというのが正解でしょう。

一般的に、針葉樹は谷側が広く、広葉樹は山側が広くなります。



オホーツク森林フェスティバル

若返ったよ！気持ちだけ…

7月29日（土）・30日（日）、網走市こまば木の広場を会場に「第4回オホーツク森林フェスティバル」が行われ、当会は常呂川FCと協力して、吉田（昭）・渋谷さんの力作である「森のおもしろアート展」とマツボックリ等を材料とした木エクラフト作りのブースで汗を流しました。

今年、オホーツクみどりネットワークの代表に就任した鞆師会長から「各ブースが協力して、楽しく意義のある2日間にしましょう。」との挨拶で森林フェスティバルがスタートしました。

森のアート展のブースを訪れた市民らは、巧みな作品のできばえに感嘆しながら見入り、制作者に質問する姿もありました。

木エクラフトのブースでは、特に、お母さんたちが熱心に作品作りに挑戦してくれ、そのできばえに満足した様子でした。

その他、のこぎり体験やタネ飛ばしコーナーも賑わいを見せていました。

今回の森林フェスティバルの特徴は、網走西小学校の粋舞隊（よさこい）や網走第一中学校・第二中学校吹奏楽部の発表（合唱、吹奏楽等）があったことです。



特に、網走第二中学校の発表では、一般市民を交えたダンスが披露され、私もその輪に加わりました。

若い頃を思い出す清々しい体験でした。

なお、2日間の来場者は昨年を上回る410名、協力いただいた方は次の通りです。（栄）

【鞆師（守）、栄、吉田（昭）、吉田（正）、小島、植村、渋谷、小林、】



第4回・第5回自主活動

こどもたち&利用者のため

第4回自主活動

7月11日（火）、生田原教育センター森林教室・こども探検隊にむけた準備（ターザンロープ、ブランコ、ハンモック等）、森の家周辺の草刈、ふれあいの森協定に基づくベンチ設置などを行いました。

ターザンロープ、ブランコ作り等では、子供たちが、楽しく、安全に遊べるよう角副会長がロープワークを駆使してくれました。

また、栄副会長、長南さんにも自前の刈払機で活躍していただきました。協力いただいたのはつぎの方々です。

【角、栄、吉田（昭）、吉田（正）、小島、長谷川、小林、長南】



第5回自主活動

8月8日（火）、以前に当会が、伐採作業等で使われたと思われる小道を整備して作り上げた遊歩道（自然再生モデル林）の草刈りをしました。



午後からは、十字園、古の森にある遊歩道、展望台周辺の草刈りをしました。

どちらも雑草がはびこっていましたが、刈払い後はすっきり、いつでも利用できる状況を見ると身も心もすっきりとなりました。

参加された皆さんご苦労様でした。

【栄、吉田（昭）、植村、吉田（正）、
小島、小林、渋谷】

『竹とんぼ隊』

高く、遠く、夢乗せて…

森林ボランティア「オホーツクの会」の活動の中で趣味を生かして色々なことを楽しんでいます。

その一つが「竹とんぼ」（正式には「どこ竹オホーツク竹とんぼの会」）の活動です。

小刀やマッチ・ローソクを使って竹を加工していく工程では、正しい道具の使い方を学ぶことができます。（最近の子どもは（親も？）マッチを擦ったこともなく、ナイフ（小刀）の使い方も知りません…嘆かわしいことです）

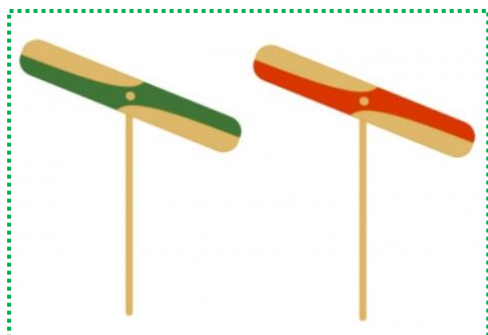


熱を加えると、固い竹が飴細工のように曲がり、プロペラのようになる瞬間は大人でも驚くほどです。

そして、何よりも自分で作ったおもちゃ（竹とんぼ）で遊ぶこと、高く、遠く飛ぶことは人類の夢（？）、うまく飛んだ時の喜びは…文字にはできません。

「オホーツクの会」の活動以外にも、北見市内外の祭り会場、児童館、小学校等、子どもたちと楽しんでいます。

現在は、2名での活動で、少しさびしい思いもしています。年齢・男女問わず、一緒に竹とんぼ（竹とんぼ教室）を楽しみましょう。



問合せは、オホーツクの会もしくは長谷川（090-6210-8004）まで。

竹とんぼ隊隊長 長谷川秋夫

ネイチャークラフトに挑戦しませんか？

材料さがしは観察から

森林は、地球上でもっとも多様な生態系があるといわれています。

このような自然界には素朴で素晴らしいネイチャークラフト材料を見つけ出すことができます。

材料を探すためには、ただ漫然と探すのではなく、見方を変えるなど注意深く観察していくと、色々なものが見えてきます。

例えば、木の実が昆虫に見えたり、木の枝が昆虫の足に見えたり、思いがけないものが見えてくるものです。

材料には、これらの他にもツルやキノコ、コケなど、あらゆるものが対象になります。

作成に当たっては、できる限り自然の形を生かすように心掛け、本物により近付ける努力よりも“遊び心”を秘めて作成することも。



吉田作：魔女のほうき



渋谷作：おもしろアート

このようにして出来上がったものは、個性的でいつまでたっても飽きのこない作品になります。

作品はパネル展などで展示することも可能です。

ぜひ入隊してみんなで楽しみませんか。

クラフト研究隊隊長 吉田昭義

隊員募集しています！

別紙により申込み下さい。(重複 OK です)

- ◆ **自然に学び隊** 隊長 吉田 昭義
オホーツクの森や北見市内の公園などで森林散策、自然観察。
- ◆ **炭づくり隊** 隊長 小島 愼
化粧炭（花炭）の作成。(将来的には本格的炭職人?)
- ◆ **クラフト研究隊** 隊長 吉田 昭義
木工クラフト、自然素材のクラフト作りやみんなで楽しめるクラフト作りの研究・開発。
- ◆ **竹とんぼ隊** 隊長 長谷川 秋夫
竹とんぼづくりを学び、イベント時などには子供たちへの作成指導。



諸般の事情により、今年度は常呂川森林ふれあい推進センターがバスを借上げることは難しい状況であり、「森の家」集合が多くなります。

※ **申し込みは、別紙申し込み用紙を活用下さい**

○オホーツクの森林づくり (常呂川 FC との共催)

日時 平成29年9月2日(土) 9:30~
(6月25日に予定、悪天候のため延期したものです)
場所 「森の家」集合
内容 カミネツコン植樹箇所の手入れ、森林散策他
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 8月29日(火)まで

○第6回自主活動 (5月~10月、第2火曜日)

日時 平成29年9月12日(火) 9:30~
場所 「森の家」集合
内容 ふれあいの森(展望台整備)活動等
持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他
申込み 協力できる方は9月5日(火)まで

○森へおいでよ！パネル展

日時 平成29年9月30日（土）～10月9日

場所 緑のセンター

内容 パネル展等

★9月29日（金）、13：30～ パネル等展示作業

★10月7日（土）、8日（日）、9日（月・祝）

クラフト作成 10：00～15：30

森林散策 10：30～、13：30～

申込み 協力できる方は9月22日（金）まで

○秋の森林散策

日時 平成29年10月1日（日）

常呂川森林ふれあい推進セ

ンター前から貸し切りバス

集合 8：15

出発 8：30

到着 15：00予定

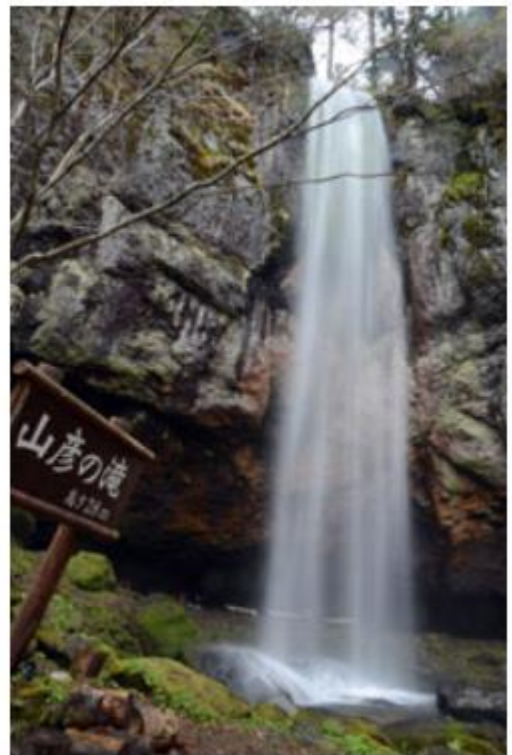
場所 遠軽町丸瀬布 山彦の滝他

内容 森林散策

持ち物 森林散策できる服装、昼食、
飲み物他

参加費 会員200円（保険料等）

申込み 9月22日（金）まで



○第7回自主活動

日時 平成29年10月10日
（火）

9：30～

場所 「森の家」集合

内容 「ふれあいの森（展望台周辺）」、「森の家」周辺の環境整備、
自然観察他

持ち物 作業できる服装、昼食、飲み物他

申込み 協力できる方は10月3日（火）まで

8月29日は「仁頃山の日」…標高829mにちなんで決めたという。ちなみに、旧北見市の最高峰である。

現在の北見市の最高峰は…武華山（武華岳）で1,759m。

参考までに、オホーツク総合振興局管内の最高峰は武利岳（遠軽町丸瀬布）で1,876m、北海道の最高峰は旭岳2,291m。

では、最高峰が低い市町村はどこだろうか？

調べてみると、オホーツク管内では「網走市、南西境界394m」…気になって調べてみたら、オホーツクの森展望台は386m（国有林マップでは392m）だが、そこが一番高い…表記ミス、測量精度の向上による変更、他の場所、考えると眠れなくなりそうだ。

会費の納入のお願い

当会は皆様からの会費を基に活動を進めており、滞納者が増えると運営に支障を来すことが避けられません。

年会費を滞納し続けた場合は、継続の意思がなく退会と判断せざるを得ません。



心当たりの方はよろしくお願いします。

— 納入方法 —

- ・ 総会で納入
- ・ 常呂川森林ふれあい推進センター内の事務局に納入（月曜～金曜（祝祭日は除く）8：30～16：30）
- ・ 会が開催・参加するイベント時に納入（会報等でご確認ください）
- ・ 会の郵便局口座に振り込む（手数料がかかります）

振込先口座 19960-8073231

森林ボランティア「オホーツクの会」



お問い合わせ

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内
森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3

TEL 0157-23-2960

FAX 0157-26-2144